

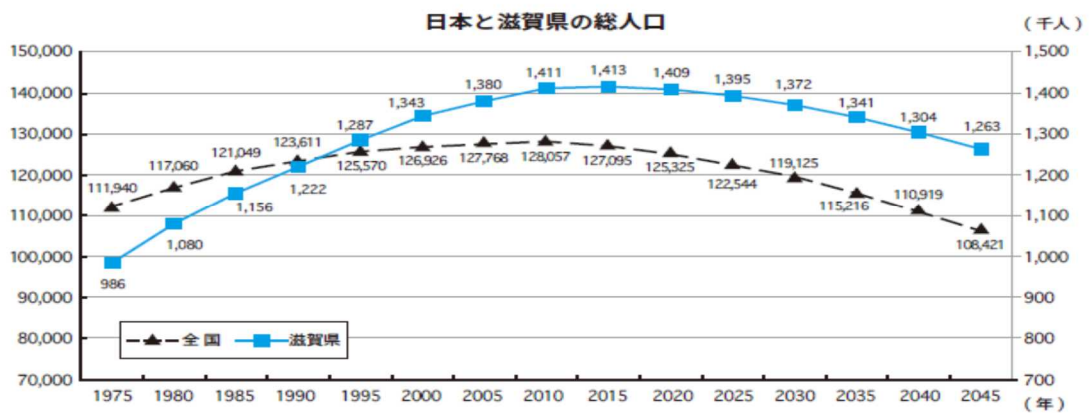
# 地域社会を取り巻く現状について

健康医療福祉部健康福祉政策課

# 人口減少、高齢化の進展、単身世帯高齢者世帯の増加

## 1 人口の推移

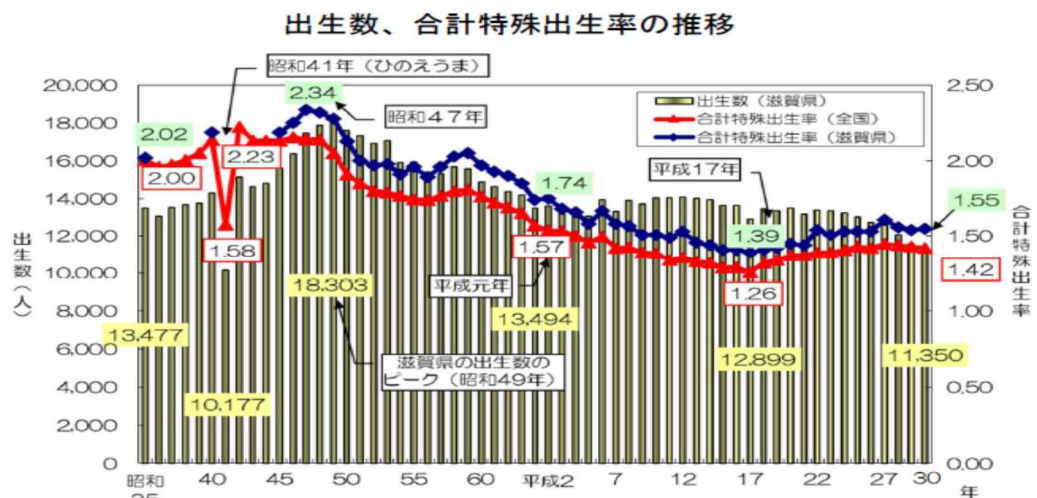
滋賀県の人口は、2013 年をピークに、近年は人口減少しています。このまま出生数が減少し、若い世代の流出が続いた場合、2030 年には、人口が最も多かった 2015 年に比べ 137 万 2 千人まで減少し、2045 年には約 126 万 3 千人まで減少する見込みです。



注：滋賀県基本構想（2019 年 3 月）より

## 2 合計特殊出生率の推移

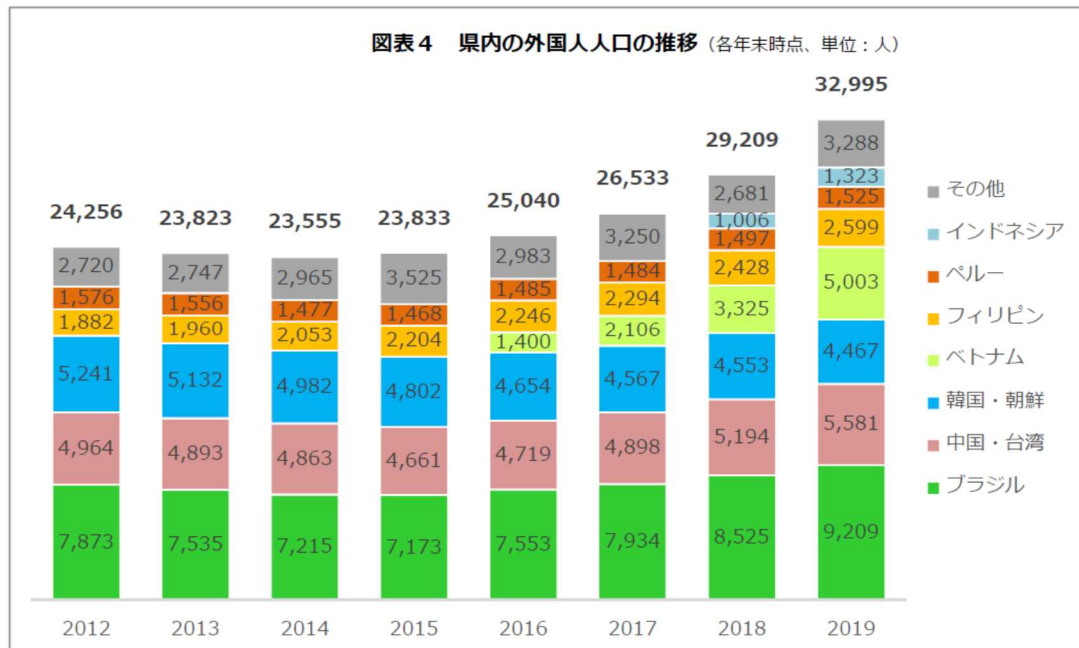
滋賀県の出生数は、昭和 49 年には 1.8 万人でしたが、その後、平成に入るまで低下が続いていました。平成元年以降、1.3~1.4 万人程度でほぼ横ばいで推移していました。しかし、平成 29 年以降は 1.2 万人を割り込んでいます。



注：子ども・若者プラン（令和 2 年 3 月）より

### 3 外国人人口の動向

県内の外国人人口は増加傾向にあります。2019 年末時点では、3 万人を超え、2012 年末時点に比べ、約 9 千人増加しています。

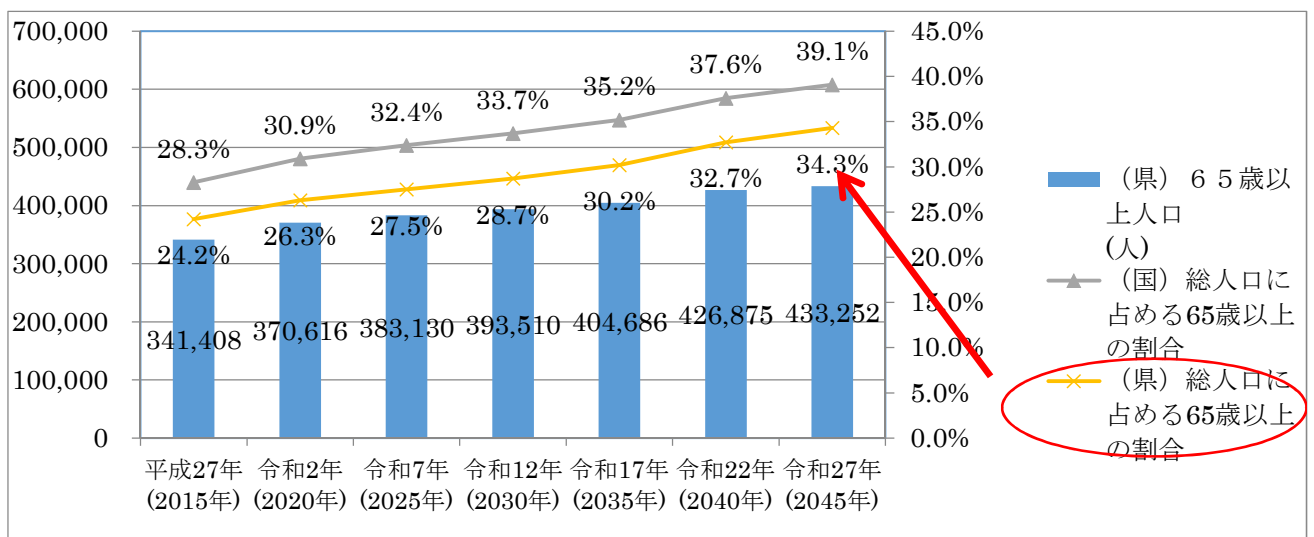


※人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略 (2020 年 3 月) より

## 4 高齢化の状況

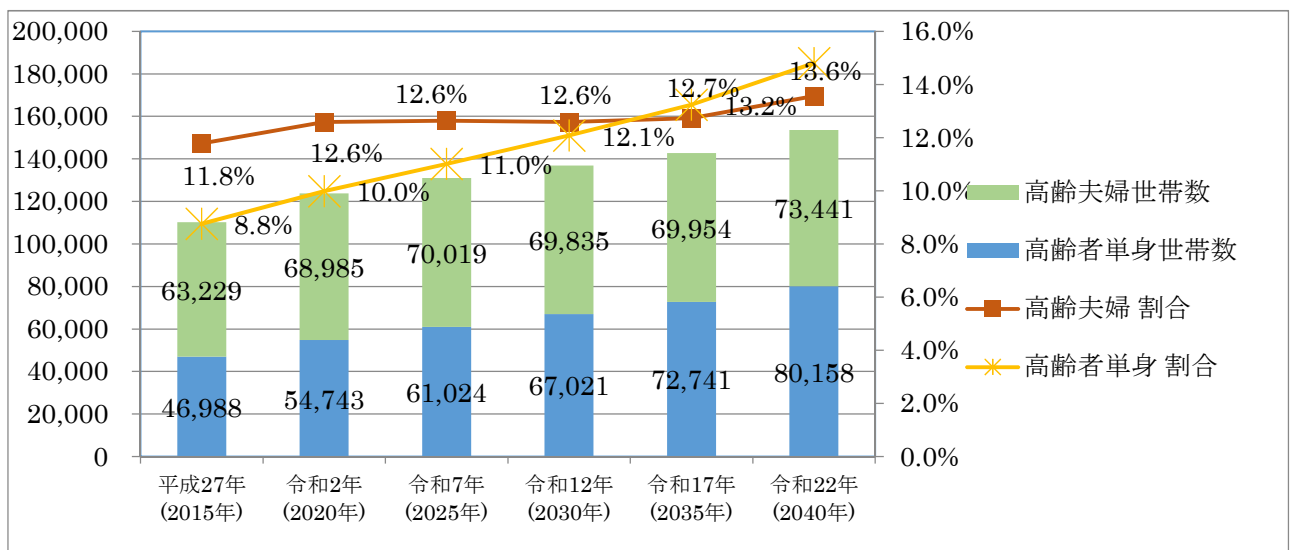
滋賀県の総人口に占める65歳以上の割合は低いですが、高齢者の人口は増加します。今後、高齢夫婦の割合は、ほぼ横ばいで推移しますが、高齢者単身世帯数は大幅に増加する見込みです。また、高齢者の増加により、医療・介護従事者の不足することが懸念されます。2025年には、介護人材需要人数に対し、3,351人の介護人材供給が不足すると考えられます。

### (1) 65歳以上の人口の推計



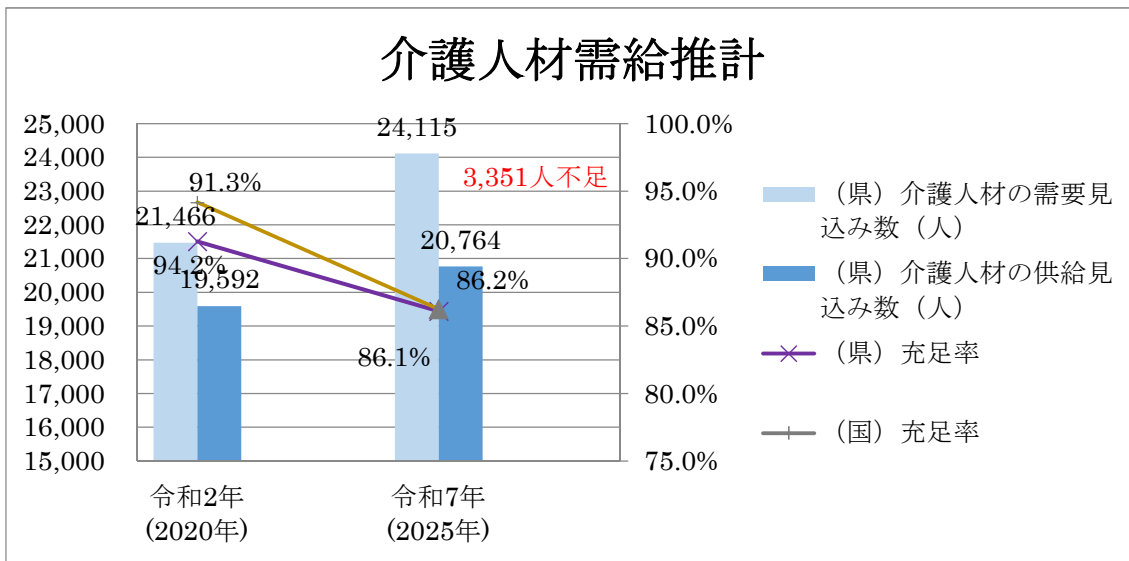
注：国立社会保障・人口問題研究所 都道府県の将来推計人口（平成29年3月推計）

### (2) 高齢者世帯数の推計



注：国立社会保障・人口問題研究所 都道府県の将来推計人口（平成29年3月推計）

(3) 介護人材の状況



※医療福祉推進課調べ (令和2年4月)

## 地域社会の課題の多様化・複雑化

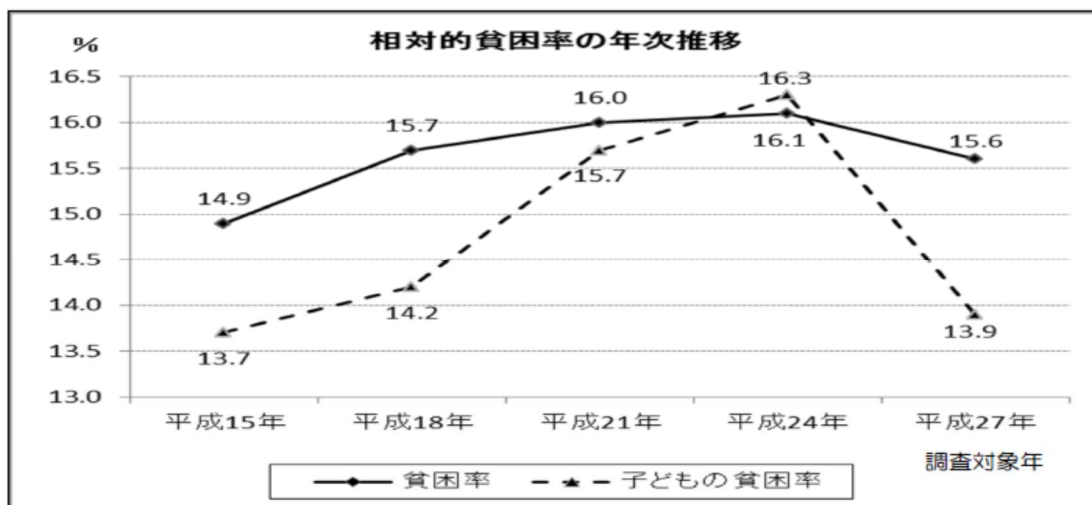
### 1 生活困窮、子どもの貧困

(子どもの貧困)

子ども貧困率は、平成27年に、13.9%に低下しているが、未だ7人に1人の子どもが貧困状態にある。

(生活困窮)

相対的貧困の年齢別では、高齢者が多く、世帯区別では、単身世帯が多く、今後、高齢者単身世帯数の増加に伴い、今後、生活困窮者は増加する見込みである。



※子ども・若者プラン (令和2年3月) より

## 2 ひきこもり

令和元年7～8月、滋賀県社会福祉協議会が民生委員を対象にひきこもりに関するアンケートを実施したところ、県平均で36.1%の民生委員がひきこもり者1,428人を把握されている。

約6割が中高年齢層となっており、年代別に見ると、40代が最も多くなっている。

### ① 【年齢階層別の該当者数】

年齢層	15～39歳		40～64歳		合計
令和元年度	543	38.0%	885	62.0%	1,428
全国推計	5,955	47.1%	6,689	52.9%	12,644

### ② 【年代別該当者数】

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明	合計
該当者（人）	75	151	317	459	224	175	27	1428
比率	5.3%	10.6%	22.2%	32.1%	15.7%	12.3%	1.8%	100%

※ひきこもり等調査（滋賀県社会福祉協議会 令和元年7月実施）より

## 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルスの影響により、経済活動の停滞を通じて雇用にも大きな影響を与えた。就業者数、雇用者数は3月以降、2か月連続減少し、完全失業率も上昇している。

また、県社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付については、リーマンショック時3年間の合計貸付件数を上回っている。

生活保護の相談や申請に占めるコロナ関連の休業等の相談などは、全体の1、2割程度である。

### (1) 就業者数、雇用者数

就業者数：6,656万人 前年同月に比べ76万人の減少。2か月連続減少。

雇用者数：5,920万人 前年同月に比べ73万人の減少。2か月連続減少。

### (2) 完全失業者数

完全失業者数：198万人 前年同月に比べ33万人の減少。4か月連続減少。

### (3) 完全失業率

完全失業率（季節調整値）：2.9% 前月に比べ0.3ポイント上昇

## ■ 完全失業率

	年平均			月次（季節調整値）			
	2017年	2018年	2019年	2020年 2月	2020年 3月	2020年 4月	2020年 5月
完全失業率	2.8%	2.4%	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.9%

注：総務省労働力調査より

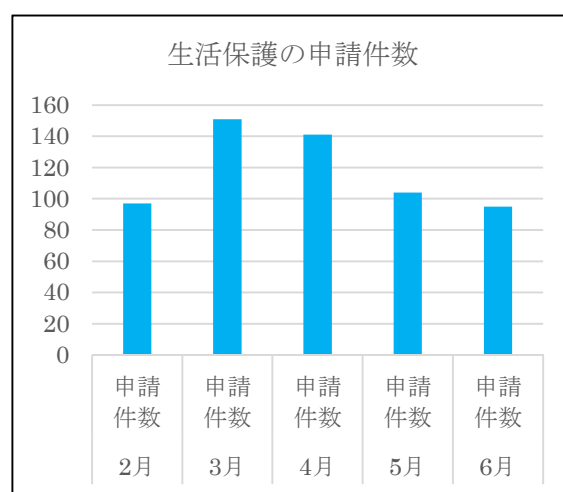
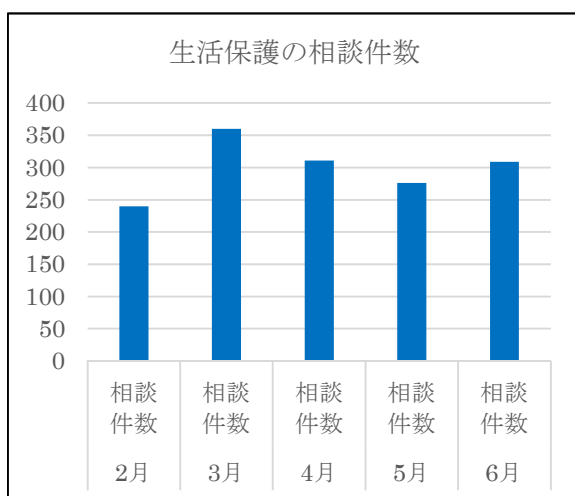
## ■ 貸付決定件数と貸付金額

	リーマンショック時3年間 （平成21～23年度）		本年度 （受付開始3月25日～7月27日現在）	
	貸付決定件数	貸付金額	貸付決定件数	貸付金額
緊急小口資金	1,158件	106,723,000円	6,669件	1,229,281,000円
総合支援資金	1,269件	1,390,679,000円	3,979件	2,145,156,000円
計	<b>2,427件</b>	1,497,402,000円	<b>10,648件</b>	3,374,437,000円

※滋賀県社会福祉協議会調べ

## ■ 生活保護の状況

	2月		3月		4月		5月				6月			
	相談 件数	申請 件数	相談 件数	申請 件数	相談 件数	申請 件数	相談 件数	内、 コロナ関連	申請 件数	内、 コロナ関連	相談 件数	内、 コロナ関連	申請 件数	内、コロナ 関連
合 計	240	97	360	151	311	141	276	62	104	21	309	60	95	12
							コロナ関連の割合		22.5%	20.2%		19.4%		12.6%



※健康福祉政策課調べ



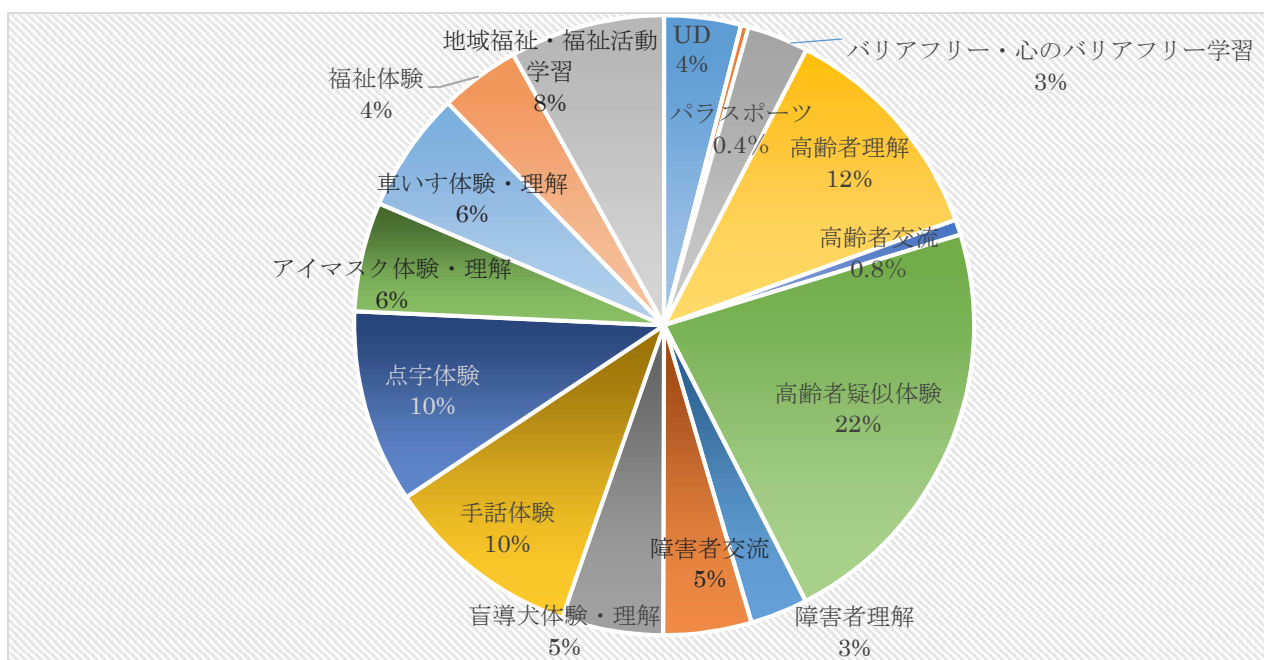
## 【参考】

### 1-1 県内公立小中学校・義務教育学校福祉学習率

	実施校数	実施率
小学校	213校/216校	98.6%
中学校	90校/92校	96.8%
義務教育学校	2校/2校	100%

注：健康医療福祉部健康福祉政策課、教育委員会幼小中教育課調べ（令和2年7月）

### 1-2 学習内容



注：健康医療福祉部健康福祉政策課・教育委員会幼小中教育課 調べ（令和2年7月）

### 1-3 実施しない理由

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
- ② 授業時間数確保のため実施できない見込み。

【参考：福祉学習内容】（実施数）

内容	UD・バリアフリー			高齢者理解			障害者理解						その他		
	UD	パラスポーツ	バリアフリー・心のバリアフリー	高齢者理解	高齢者交流	高齢者疑似体験	障害者理解	障害者交流	盲導犬体験・理解	手話体験	点字体験	アイマスク体験・理解	車いす体験・理解	福祉体験	地域福祉・福祉活動の学習
実施数	20	2	16	60	4	112	15	23	27	52	51	29	32	21	41

※健康福祉政策課・幼小中教育課調べ（重複回答あり）

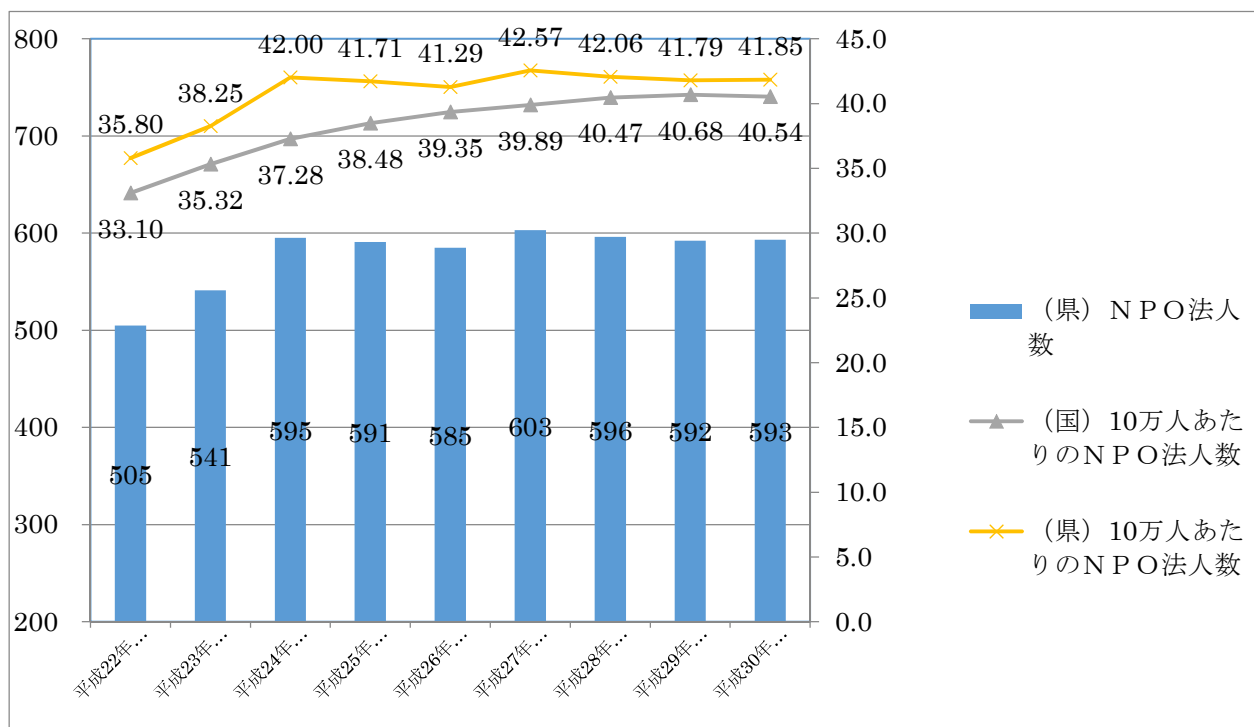
（校）

## 2 ボランティア活動の実施状況

	平成 13 年 (2001 年)	平成 18 年 (2006 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)
(県) ボランティア数 (人)	468,000	416,000	408,000	425,000
(県) 総世帯数に占めるボランティアの割合	39.3%	34.0%	32.6%	33.9%
(国) ボランティア数 (人)	32,684,000	29,764,000	29,998,000	29,438,000
(国) 総世帯数に占めるボランティアの割合	28.9%	26.2%	26.3%	26.0%

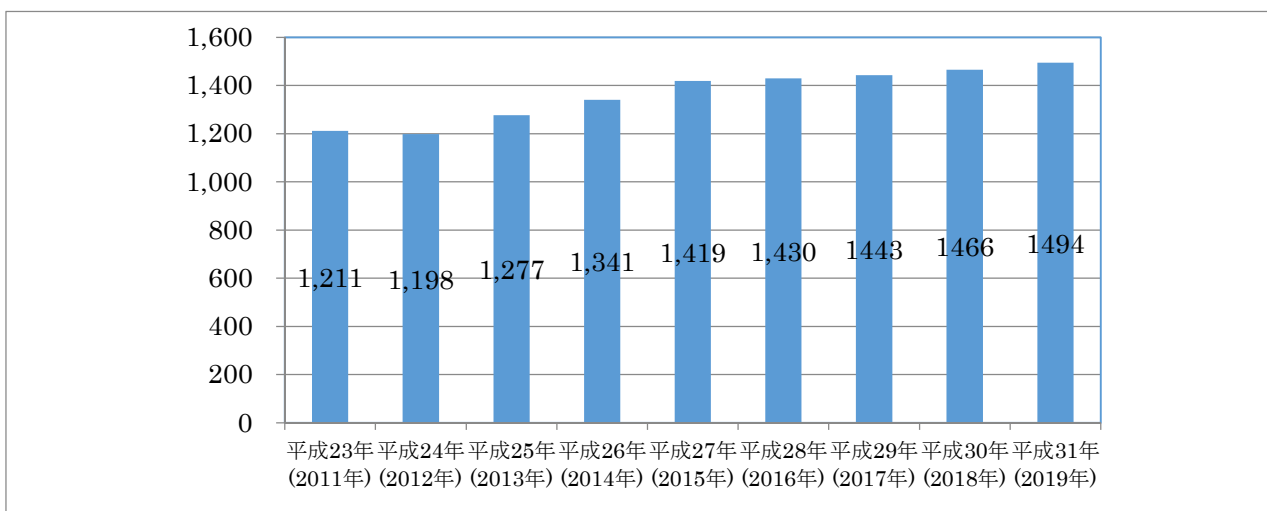
注：総務省「社会生活基礎調査」より

## 3 NPO法人数



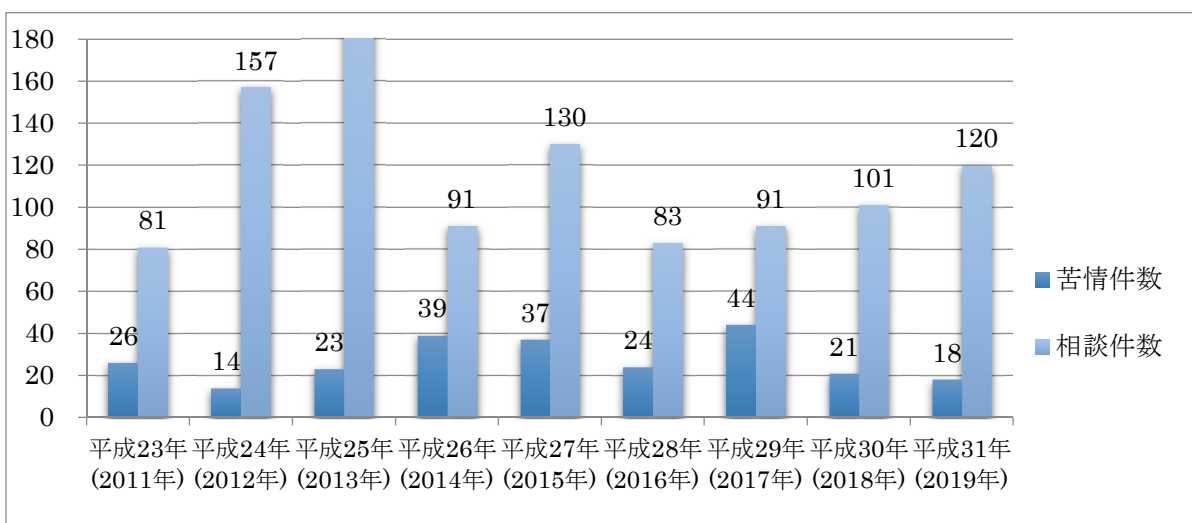
注：総務省「社会生活基礎調査」より

#### 4 地域福祉権利擁護事業利用者数



※滋賀県健康福祉政策課調べ

#### 5 運営適正化委員会利用件数



※健康福祉政策課調べ

#### 6 障害者110番利用者数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	331件	225件	78件	107件	87件

※障害福祉課調べ